

令和4年
58号

ICHIINOKAI VOL.58



●目次●

- ◇理事長挨拶 1
- ◇コロナクラスターについて
施設長より 2
- 各事業所の様子 3
- ◇コロナ禍
1年間の
アルバム 4・5
- ◇新型コロナウイルス
クラスター終息のご報告
新任職員紹介
ありがとうの会
編集後記 6

いちいの会だより



新年度ご挨拶

社会福祉法人いちいの会 理事長 児嶋 政明

皆様、こんにちは。桜が咲きそめる中で、4月からの新年度を迎えました。日頃より当法人の運営にご理解とご支援をたまわり厚く御礼申し上げます。

去る2月初めに新型コロナウイルスのクラスターが発生しましたが、関係者の皆様の温かいご支援と職員一同の懸命の尽力のおかげで、重症者が出ることなく2月末に通常の態勢に復帰することが出来ました。この場を借りて深く感謝するとともに厚く御礼申し上げます。

このクラスターを除いては、くすのき苑、ワークショップ、グループホーム、のだネット、相談支援センターの5つの事業は、法人の基本理念である「利用者第一の充実した支援サービス」「地域福祉への貢献」「やりがいと研鑽そして笑顔の職場」のもと、おおむね順調に運営を続けることができました。

また、利用者にとっての快適な利用環境の整備と、職員が気持ちよく働ける職場環境の整備を進めました。具体的には、昨年5月に老朽化したグループホームの代替として新たなグループホーム「もくれん」を開所いたしました。また7月にくすのき苑に防災のための非常用発電設備設置工事が完工いたしました。その他にも改修・修繕を進めるとともに、職員の給与のベースアップを実施いたしました。

新年度は、5つの事業の運営を前向きに進めるとともに、引き続き防疫・防災対策の推進、ガバナンスの強化と透明性の確保、人材の確保・育成、地域社会に貢献する取り組みなどを進めてまいります。

環境整備の面では、4月から給与のベースアップを行うとともに、くすのき苑中庭の増築工事、尾崎台での新たなグループホームの建築などに取り組みます。

経済的には、収入の伸びが限られている一方で人件費や設備投資などの支出が嵩むことが見込まれ、経営は楽ではありませんが、厳しい環境の中、慎重に舵を取ってまいります。

新年度も役職員一同力を合わせ、基本理念のもと着実な努力を重ねていく所存ですので、皆さまには引き続きのご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの クラスター発生と対応

社会福祉法人いちいの会 総合施設長 清本 健二郎

法人では令和2年の2月より「新型コロナウイルス感染症対策の件」「発生時のフロー」を作成し、改定を重ね感染症防止対策を行ってきた。毎月各事業所責任者と看護師で現況に沿った対策、対応を検討した。しかし、入所施設のくすのき苑で2月3日に新型コロナウイルス感染症クラスター発生。くすのき苑内に法人本部があり、法人内他事業所の職員も出入りする。入所の日中活動にグループホームの入居者の方が通われている。苑内に陽性者が出た段階で寮間の行き来、外部からの来苑中止。その時点では潜伏期間もあり、一部グループホームの利用者にも感染。ゾーニング開始、生活が一変する。防護服の職員が日常の支援に当たる。レッドゾーンではフル装備での対応、誰だかわからない。職員の感染も広がり、法人内の他事業所の職員を招集しても間に合わない、千葉県知的障害者福祉協会の事務局を通し、災害対策委員会へ応援職員の依頼を出す。翌日には回答があり、2日後には野田芽吹学園から2名(男性1名女性1名7日間)の応援を頂いた。早急な対応に深謝。

前半の2週間は、連日または1日おきに陽性者が発生し、1日に利用者の方と職員で併せて10名陽性の日が2日。

半分以下に削られた職員で勤務を回すため、明日の勤務が夕方でないとは確定しない。準職員も休みなく連日勤務。家族をもつ職員は自宅に帰れず、ホテルとの行き来。閉塞感。

協会のメールでクラスターの件が報告されると多くの方々から励ましのお言葉、物資応援等のお言葉、追加応援体制の調整、職員への差し入れ、「私たちは千葉の北端の孤立した施設ではない」と職員に応援するしかない。

今回運よく、利用者の方々が軽症で収束を迎えられたのは、関係したすべての職員がそれぞれの持ち場でしっかりと力を発揮してくれたことも要因の1つ、本当に感謝。

千葉県、野田市、保健所、医療機関、協会関係、ご家族の方々の温かい言葉、ご指導、ご協力誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症は新たな株に変異し、感染症クラスターの可能性はまだまだ続きます。今回のクラスターで得た経験を教訓とし、利用者の方々に安心安全な生活環境を提供できるよう再発防止に努めます。

今後ともご指導、ご協力いただけますようお願いいたします。



イエローゾーン 防護服装着エリア



食事介助の様子

2月のクラスター発生の際は、ご家族を始めとし、関係機関の皆様には多大なご心配をおかけ致しました。

約2年間、新型コロナウイルスに対して様々な感染対策を行ってきましたが、利用者の皆様の障害特性によるものはもちろん、くすのき苑の建物の構造上、おそらく感染者が出た際には数名で留めるのは難しいかもしれないと危惧していました。そして当初から予測していた通り、利用者の皆様、職員の大半が感染するクラスターとなってしまいました。

感染してしまった利用者の皆様は、2～3日発熱等の症状は見られたものの、以降は隔離対応を続ける中でもとても穏やかに過ごされていた印象です。普段と環境や日課のすべてが変わってしまった中、職員はもちろん、利用者の皆様も頑張ってくれたのだと感じました。

状況は毎日変わり、その1日の中でも次々と利用者様、職員、その他の状況が変わる…。その都度情報を出す、そしてそれを受けることを繰り返すこととなり、様々な対応がある中でそれらを的確に行うことの難しさを痛感。しかし、同時に情報を共有することの重要性も改めて感じた期間でもありました。

収束後、「普段より利用者の皆さんとコミュニケーションがとれた」「職員間の団結力を感じた」と前向きな話を聞かせてくれた職員も多くいました。感染を広げてはいけない、自分も感染してはならないという精神的に厳しい状況、加えて過酷な勤務体制の期間を乗り越え、そんな想いを持ってくれる職員と一緒に仕事ができることが心強いです。

今回、重度化した利用者の方がいなかったことが何より幸いで、まだ落ち着かない感染状況の中、より気を引き締めて感染対策を行っていきたいと思います。

ワークショップくすのき グループホームかえで

令和4年2月1日に、くすのき苑で新型コロナウイルスに利用者の方2名が感染したとの一報が電話で入りました。

その時期の感染者数を見れば、いつ、どこで、だれが感染してもおかしくない状況でした。ついに来たか。しかたないのか。これからどう対応していくのか。いろいろなことを考えている時間もなく、さまざまな対応に追われていくことになります。

グループホームの利用者の方3名が、くすのき苑の生活介護に通っており、感染した利用者と同じ寮で過ごしていたことから、1名が感染。以後2名の利用者が感染することになりました。

ワークショップくすのきでは、くすのき苑、グループホームで感染者等の支援に職員が入るために休止とし、法人職員全体でクラスターへの対応をすることになりました。

現場の対応した職員は、他の利用者に感染しないようにと細心の注意を払いながらも、自分自身もいつ感染するかわからない状況でした。それでも職員は弱音を吐かず、なんとか最小限で留めようと力を合わせ、2月18日グループホームは収束することができました。現場の対応をした職員、その周りでサポートした職員、本当に頭を下がる思いです。感謝です。

家族・関係者の皆様にも、ご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。また、温かい励ましやご支援を、皆様よりたくさんいただきました。改めまして厚く御礼を申し上げます。

どれだけ防疫対策をしても、あいだをすり抜けてくるウイルスに、まだまだおびえる生活は続いていきそうですが、その中でも利用者の方々が安心して、楽しみをもって暮らしていけるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

1年間の

思い出



くすのき縁日



日常生活



アルバム



さつまいも掘り



新年会



日常の生活



新型コロナウイルスクラスター終息のご報告

令和4年2月に発生した新型コロナウイルス感染症のクラスターについて、2月28日に感染者全員の療養期間終了を保健所ほか関係各所に報告させていただき、その後の観察期間を経て3月7日にクラスター終息の宣言をさせていただきました。

隔離期間中は千葉県や野田市及び関係機関よりご指導、ご支援をいただき、終息まで乗り切ることができました。ありがとうございました。

また、千葉県知的障害者福祉協会の関係各所をはじめ、関係医療機関、近隣商店様、いちいの会家族会、ご家族の皆様よりご支援、ご援助をいただきました。たいへん心強く支援にあたることができました。心より御礼申し上げます。

終息を迎えてからも、職員の週1回のPCR検査を含む感染症対策を徹底しつつ、利用者の皆様に安心安全なサービスを提供できるよう、努めて参ります。

今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。



新任職員紹介

山崎 陽子

2月まで高齢者施設で働いていました。3月からは子育ても一段落したので、心機一転、若い頃にやりたかった障害者福祉に再度携わってみようと思いました。早く一人前に働けるよう努めて参ります。ご指導のほどよろしくお願い致します。



ありがとうの会

4月に産休に入る職員の壮行会をしました。お休みに入ってしまうのは寂しいけど、にぎやかな雰囲気のおかげで笑顔がたくさん見られました。元気な赤ちゃんを産んで戻ってきてね！



編集後記

自分が子供だった頃、ガチャガチャといえばアニメなどのキャラものが主流でしたが、今ではオリジナルキャラクターのものや、工具やアパートの階段などマニアックなもの、またシュールなものまで置いてあり、つい見入ってしまいます。買い物に出かけるのが最近の楽しみです。(清宮)

外出する機会が減ってしまったのでアマゾンプライム会員になりました。普段映画に触れる事がないので休みの日の楽しみとして活用しています。両親は私以上に楽しんでおり、「アニメなんか」と見向きもしなかったのに今ではすっかり鬼滅ファンに。それはいいのですが、私が見ようとする度にネタバレをするのはちょっと…。(中山)

社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121
TEL :04-7120-6667
FAX:04-7120-6668

発行責任者 総合施設長 清本 健二郎
編集 清宮・中山
発行日 令和4年5月吉日

